デジタル技術超入門（DX 編）

［概要］　デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進することが各企業で求められています。国としても DX 推進をするため、2018 年 9 月には経済産業省から「DX レポート～IT システム『2025 年の崖』の克服と DX の本格的な展開～」が発表されました。その中で、複雑化・老朽化・ブラックボックス化した既存システムが残存した場合、2025 年以降の経済損失は最大 12 兆円になり、ユーザ企業は DX に対応できずにデジタル競争の敗者になるという「2025 年の崖」が提唱され、ユーザ企業、IT 企業の対応が求められています。

このコースでは、DX の定義、DX レポートの概要から、DX 推進に関する日本の現状と課題を理解し、「2025 年の崖」に落ちないための経営戦略・IT システムにおける克服法を理解します。

［学習目標］　・DX とは何かを理解する
・日本の DX の推進に関する現状と課題を理解する
・経営戦略・IT システムにおける「2025 年の崖」克服法を理解する

［受講対象者］・ユーザ企業の IT 部門、IT 企画、経営企画の方、
・IT 企業の営業、企画、SE の方

［前提条件］　特になし

［日数］　半日間（3 時間）

［形式］　講義

［研修に必要なもの］

講師用　：（オンラインの場合）オンライン研修環境
（オフラインの場合）プロジェクター、ホワイトボード

受講者用：（オンラインの場合）オンライン研修環境、Word の使える PC

［タイムスケジュール］

日程	内容
	１．DX とは DX の定義 デジタル・ディスラプターの出現 日本の DX の現状を示す DX レポート 日本の DX の推進に関する現状と課題 経営戦略上の課題 既存システムの課題 IT 人材の課題 2025 年の崖 ２．経営戦略における「2025 年の崖」克服法 「2025 年の崖」を克服するためのデジタル戦略 デジタル戦略における経営ビジョンの重要性 事業と市場から考える経営ビジョン アンゾフ・マトリックスの活用 既存事業・既存市場 既存事業・新規市場 新規事業・既存市場 新規事業・新規市場 ３．IT システムにおける「2025 年の崖」克服法 レガシーシステムからの脱却法 既存システムの適用業務の断捨離をしたうえで仕分ける 企業競争力との関連性高い 業務の変更頻度低い 企業競争力との関連性高い 業務の変更頻度高い 企業競争力との関連性低い 業務の変更頻度低い 企業競争力との関連性高い 業務の変更頻度高い SAP　ERP 保守期限切れに対する対処法 ３つの対処方法 SAP ERP と S/4 HANA との違い SAP S/4 HANA への移行方法